

民報

おうしゅう

読者版

発行 赤旗奥州出張所 水沢区字久田 62 Tel 24-2021 Fax 24-2049

来年度予算を賛成多数で可決とは???

議会の意思が無視された予算ではなかったでしょうか

3月議会最終日、平成28年度奥州市一般会計予算が賛成多数で可決されました。日本共産党の千葉敦議員と及川善男議員が反対討論（全文は裏面参照）を行い、奥和会の鈴木雅彦議員、中西秀俊議員が賛成討論を行いました。

平成28年度予算は、昨年12月議会で陳情が採択、修正案が可決された、「総合支所の職員数と機能の維持」を前提にしたものでなければならなかったはずですが、ところが、予算は総合支所の職員を4分の1削減し、機能を縮小するというものです。

何の釈明もなく賛成討論

鈴木雅彦議員と中西秀俊議員は、「組織再編に反対したこと」等に何の釈明もなく、小沢市長の「政治姿勢と予算」を評価し、賛成討論を行いました。組織再編等に反対し、一般会計予算に賛成した議員は、鈴木雅彦、廣野富男、及川佐、菅原圭子、高橋政一、佐藤郁夫、中西秀俊、千葉悟郎、佐藤邦夫の各議員でした。

予算に反対表明は5議員

予算に反対の表明をしたのは日本共産党の千葉敦、菅原明、今野裕文、及川善男の4議員と小野寺重副議長でした。

介護関連職員等の賃金改善の支援を

予算審査特別委員会、日本共産党議員団は、「特別養護老人ホームの待機者や施設の運営状況、介護関連職員の確保のため、市として賃金改善の手立てをとるべきでないか。国民年金で入れる施設を



特養の待機者は502人

これに対し担当者は、「特別養護老人ホームの待機者について、申込者は1169人で、重複して申し込みされており、調査対象者（実質の待機者）は502人である。その内早急に入所させなければならぬ人は155人（平成27年4月1日時点）で、平成28年整備分97人が入所できることから、現在58人が待機していることになる。

早急に入所必要は151人

次に、介護関連職員の確保のため、市として賃金改善の手立てをとるべきでないか。国民年金で入れる施設を

すでに1年が経過していることから、早期に入所させなければならぬ人の数は、151人に近い数になっていると思われる。」と答弁しました。

介護職員不足で受け入れできない施設も

また、「5期分遅れて整備された小規模特別養護老人ホームで、職員の不足から充分受け入れができていない施設が2施設ある。『3月末まで満床にちかづけた』と施設側から伺っている。

無認可老人施設は市内に無い

無認可老人施設は、市内には無いと思われる。ただし1か所、旅館業法に基づきこの地区で行き場のない老人を受け入れている温泉があり、施設側は『できれば他の施設にお願いしたい』と話している。地域にとっては助けていただいている分がある」としながらも、入所者数等は把握できていないことを明らかにしました。

人件費支援は検討課題に

人件費の支援については、「保育など各分野で職員の確保が難しくなっており、全体をみて考えなければならぬことから、検討課題としたい」とし、「次期計画には、年金で入れる施設整備について検討課題にしたい」と述べるにとどまりました。介護を必要としている市民の実態を把握できなくなっていることを、印象付ける答弁でした。



県議会議員

千田美津子

憲法違反の戦争法は許さない!

3月29日、憲法違反の安保法制（いわゆる戦争法）が施行されました。



中・高校生等が率先して署名

千田美津子県議などが交替でマイクを握り、「海外でアメリカが引き起こす戦争に日本を巻き込む戦争法は断じて許せません。ご一緒に戦争法ノー、アベ政権は退陣を！の声を上げましょう！」と訴えました。この日は署名活動も行った。これは、昨年の9月19日に国民の多くの反対を押し切って強行可決されたものですが、戦争法の施行に抗議の意思を示そうと、奥州市の女性後援会の皆さん約20名が水沢メイプル前に集合しました。

高校再編を考える

No.4

実業高校の学級減は地域産業の将来にかかわる

県教育委員会が策定した「新たな県立高校再編計画（案）」についての胆江ブロック地域説明会が1月19日に岩谷堂高校で開かれました。再編案の内容は、2019（平成31）年度までに水沢農、水沢工、前沢の3校で1学級ずつ削減するというものです。説明会では様々な意見が出ましたが、次のことを考える必要があるのではないかと思います。

①専門高校（水沢農・水沢工）の学級減の問題では、地域産業をどのように維持していくのかという観点から、安易な統廃合は避けるべきではないかということです。青森県や秋田県では、専門高校や分

裏面もご覧ください

《裏面に続く》